

第三部拡大役員会（第 24 期・第 14 回）

議事要旨

I. 日時 平成 31 年 2 月 28 日（木）10:00～12:00

II. 会場 日本学術会議 5 階 5-A（1）会議室

III. 出席者

第三部役員	大野 英男	部長
	徳田 英幸	副部長
	高橋 桂子	幹事
	米田 雅子	幹事

日本学術会議 渡辺 美代子 副会長

事務局 犬塚参事官、柳原、宮本、石尾、中西

IV. 議事

- 1) 前回議事要旨（案）の確認
- 2) 来年度の手当・旅費について
- 3) 来年度の「第三部会」及び「第三部拡大委員会」の開催計画について
- 4) 第三部夏季部会のスケジュールについて
- 5) 第三部夏季部会併設公開シンポジウムと懇談会について
- 6) 学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来 Part2」
- 7) 3 月 28 日「理学・工学系学協会連絡協議会」について

V. 配布資料（資料番号は、議題と対応）

- 資料 1 前回（第 13 回）議事要旨（案）
- 資料 3 来年度の「第三部会」及び「第三部拡大委員会」の開催計画について
- 資料 4 平成 31 年度第三部夏季部会（案）
- 資料 6 学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来 Part2」ポスター
- 資料 7-1 提言「学協会に係る法人制度一運用の見直し、改善等について」
- 資料 7-2 議事次第案（理学・工学系学協会連絡協議会）
- 資料 7-3 シンポジウム GDPR に対する日本の学術界対応

参考資料 1 第三部拡大役員会（第 24 期・第 14 回）名簿

議事

1) 前回議事要旨（案）の確認

- ・まず、大野部長より、前回議事要旨（案）の確認が行われ、了承された。

2) 来年度の手当・旅費について

- ・続いて、大野部長より、議事2)に関しては、議事3)と併せて議論する旨が伝えられた。

3) 来年度の「第三部会」及び「第三部拡大委員会」の開催計画について

- ・続いて、大野部長より、資料3、机上配布資料2に基づき、来年度の手当・旅費（議事2）、来年度の「第三部会」及び「第三部拡大役員会」の開催計画案（議事3）について、併せて説明、意見交換が行われた。説明のポイントは次の通り。

- ① 拡大役員会の16人委員会は、2018年度の4回から来年度は3回に減らす。5人委員会は現状維持。（議事3・資料3）
- ② 全委員会・分科会を1回開催すると、7掛けでも開催が厳しい状況に変化はない。（議事2・机上配布資料2）

4) 第三部の夏季部会のスケジュールについて

- ・議事4)は議事5)と併せて議論が行われた。

5) 第三部夏季部会併設公開シンポジウムと懇談会について

- ・資料4に基づき、徳田副部長より、平成31年度夏季部会について説明が行われた。説明のポイントは次の通り。

- ①平成31年度は、8月1・2日に大阪大学豊中キャンパスで開催
- ②第1日目の公開シンポジウムのタイトルの詰めはまだだが、ゲストスピーカーは、脳情報に関して柳田先生、人とロボットの未来について石黒先生にお願いする予定。
- ③第2日目の部会は昨年時間切れになったので、9:30くらいから開始してもよいと思う。
- ④見学会で訪問するダイキン工業は、阪大ともつながりが深い世界的な空調メーカーである。

6) 学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来 Part2」

- ・続いて、米田幹事より、資料6、机上配布資料3に基づき、学術フォーラム「危機に瀕する学術情報の現状とその将来 Part2」の実施について説明が行われた。説明のポイントは次の通り。

- ①机上配布資料3に示す通り、当日の役割分担（案）を作成したので一通り紹介・確認しておく。

②学術フォーラムは、企画課にサポートしていただく。

7)「理学・工学系協会連絡協議会」について

- ・続いて、米田幹事より、資料7-2・7-3に基づき「理学・工学系協会連絡協議会」について説明が行われた。

8) その他

- ・免震・制震データ改ざん問題の提言に係る査読について
米田幹事より説明があった。また、
大野部長からは役員のメンバーが提言のメンバーであった時には、そのメンバーを外して査読者を決めるということをもう一度確認するよう指示があった。
- ・山極会長の夏季部会出席について
2/28 の幹事会の際に、第三部役員より山極会長へ一部でも参加をお願いすべくお声がけをすることとなった。

(閉会)